

magis

St. Ignatius Church



『マジス』はラテン語で、イエズス会のモットー「神のより大いなる栄光のために」を表しています。

教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』(教皇フランシスコ)―「ミッション2030」―福音を伝える

訃報

R.I.P ギュンタ・ケルクマン神父様

2017年4月から当教会助任司祭をされていたギュンタ・ケルクマン神父様は5月15日(火)午前10時35分に、急性骨髄性白血病のため、都内の国立国際医療研究センターで帰天いたしました。享年75歳、イエズス会生活55年でした。通夜は5月21日(月)、葬儀は5月22日(火)に執り行われました。みなさま神父様の司牧活動に感謝し、お祈りください。

迎える

電話が鳴り「はい、聖イグナチオ教会案内所です」と答える。すると「売店ですか?」と言われるので、もう一度「はい、本などを扱っておりますが、聖イグナチオ教会案内所と申します」と答える。ここは「……案内所」なのです。

一番大切にしていることは、神様のもとに案内すること。私たち聖パウロ女子修道会は教会のなかで社会的コミュニケーション手段を使って福音を告げるといふ使命をいただいています。ですから、書院には聖書を始め、キリスト教関係の本や典礼用品がありますが、それらをとおして救いの福音を人々に伝えるためです。

とはいえ、実際には様々な案内があります。教会内の施設はもとより周辺のカトリック施設や大学、ホテル、コンサートホールなど。

これらの場所で行事などがあると、録音した案内を流そうかと思うほどです。

教会内の案内で多いのは、聖堂の入口はどこですか? 自由に入ってもいいですか? ミサは何時ですか? ゆるしの秘跡は何時からですか? 教会の受付はどこですか? といった内容でしょうか。

教会のドアはいくつもあり、そのドアを開いてみることは、初めて訪問なさった方々には躊躇されることでしょうか。誰にでも初めて教会を訪問したときの思い出があるのではないのでしょうか。結構勇気のいることだと思います。私が初めて故郷の教会を訪れたとき、入っていいのかどうか分からず、尋ねようにも誰もおられず、結局何回目かの訪問でやっと信者さんに出会い聖堂に入ることができました。その信者さんとの出会いのお陰で私は神と出会うことができました。とても大切な出会いです。

同じように、この案内所を訪れる方々との出会いも大切です。それは神様が準備してくださったものですから。道を尋ねて通り過ぎるだけの方々、信仰・祈りについて何かを求めて来られる方々、喜びや感動を分かち合ってくださいる方々、苦しみや悲しみ・怒りや不安などを分かち合い祈りを求めてこられる方々など、訪れる方々を「迎え入れ」て、できるだけその必要に応えたいと願っています。

しかし、いつもうまくいくとはかぎりません。

忙しい時間帯であったり、取り込んでいたりすると十分に対応できないこともしばしばです。対応に腹を立て怒りだす方や時間がないと言って帰ってしまわれる方も。

これらの出来事は自分の限界や貧しさ、不足と向き合わせてくれます。

私たちは案内所を閉めたあと一日を振り返り、心にとまった出来事や人について少しの時間分かち合いをします。そして、その日書院を訪れてくださったすべての方々を主に委ね、特にお祈りを約束したお一人おひとりを思いだして祈ります。

「『出向いていく』教会とは、門の開かれた教会です。隅に追いやられている人のもとへと出向いて行くことは、やみくもに世界を駆けずり回ることではありません。

足を止める、他者に目を注ぎ耳を傾けるために心配事を脇に置く、道端に倒れたままにされた人に寄り添うために急用を断念する、——そのようにしたほうがよい場合がしばしばあります。

時にわたしたちは、帰ってきた息子がすぐ入れるようにと門を開けたままにする、放蕩息子の父のようであらねばなりません。』(『福音の喜び』46)

聖霊に促されて神を探し求める人が、冷たく閉ざされた教会の門にぶつかることがありませんように。

父の家である教会に戻ってくる人々を、私たちが心の門を開いて「迎え入れる」ことができますように。

聖パウロ女子修道会 富田 洋子

ミッション2030 -前文-

私たち聖イグナチオ教会は、祈りにもとづく使徒的共同体を生きていきます。

現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、環境破壊など、未来に希望を見いだしにくい反福音的なものに脅かされています。それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、いつくしみの扉を開いていきます。

私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、貧しい人や弱い人の声を聴き、皆でともに手をたずさえて（日本人も外国人も、老いも若きも）、福音のよろこびを分かち合っていく使命を生きていきます。

6月の共同祈願

ご聖体はすべてが流れ出る泉です。
ご聖体の内に私たちを極みなく愛して下さる主よ
ご聖体をいただく私たちがあなたの命に生かされ
福音を証する者となれるよう一人ひとりを
あなたの姿に変えて下さいますように。

(解説)

ご聖体は無限に流れ出る恵みの宝庫です。今日もこの泉から力をいただいて、人々の中に出かけていきましょう。一日の終わりには、今日の働きをご聖体の前に運びましょう。私たちの喜びも苦しみも御父の栄光に変えてくださいますように！

ご聖体を絶えず見つめるなら、イエスさまのまなざしが、私の心にその美しさを刻みつけてくださるでしょう。

「ミッション2030」 - 福音を伝える②

迎え入れること

今年は福音を伝えることを教会のテーマにしています。私たち一人ひとりがそれぞれの場(家庭や職場など)で福音の喜びを分かち合えるようになることを目指しています。

福音の喜びを分かち合うため、自分の世界から「出かけていく」積極性や勇気が必要でしょう。と同時に、私たちのところに「迎え入れる」ことも同じくらい大事なことでないでしょうか。

幸いなことに、この教会は交通の便のよい都心にあり、多くの人が尋ねてきやすいところにあります。キリスト教にどこか関心があって入ってくる人もおられるでしょうし、大きな悩みを抱えていて思わず入ってこられる人もおられます。そういう人びとを私たちが迎え入れているかどうか、一度反省してみる必要があるのではないのでしょうか。

例えば、ミサに与かっているとき、隣に座っている人が明らかに不慣れな方がおられるならば、ちょっと声をかけて聖歌集のページを教えてあげるとか。入り口あたりできょろきょろしている人がおられたら、ちょっと声をかけてあげる。あるいは、庭のベンチに寂しそうに座っておられる方がいたらあいさつをしてみるとか。

そういうごく小さな迎え入れの態度があれば、この教会全体がどれほど暖かな雰囲気になれるのでしょうか。

前頁には、教会の案内所で働いておられるシスターに巻頭言を書いてもらいました。彼女の話の聞くと、どれほど多くの人を迎え入れ、話を聞いてあげ、さまざまなアドバイスや案内を差し上げ、その人のために祈っておられるのか。驚くばかりです。

私の理想は、教会のメンバー全員がそのような態度で初めてくる人たちを迎え入れる教会になることです。

迎え入れるということは、ベネディクト会の霊性では本質的なものです。自分の修道会に来られたお客さんをイエスさまやマリアさまのように歓待するという伝統があります。

迎え入れの本質は、実のところ、相手のありのままを認め、受け入れることではないのでしょうか。その人自身を自分の心に迎え入れるということです。そのとき、相手は本当に心を開き、心がつながるでしょう。心のつながりのあるところに、福音が伝わるのではないかと思います。福音は一方的に押し売りするものではなく、魂の響き合いから生まれる、愛の結実ではないのでしょうか。

英 隆一朗 主任司祭

献堂記念行事のご案内

福音の喜びをあじわおう ～いつも喜んでいなさい～

当教会の主聖堂は1999年6月6日献堂、今年で19周年です。私たち共同体の家である主聖堂の記念日をともに喜び、お祝いしましょう。

献堂記念ミサ

6月2日(土) 18:00

6月3日(日) 全てのミサ

時間・場所は日曜のミサと同じです。

4ページ下のミサ時間をご参照下さい。

大掃除 6月2日(土) 9:00～11:00 前後

心をこめて隅々まで綺麗にして献堂記念日を迎えましょう。

掃除のできる服装でいらして下さい。

掃除用具はクリーンアップグループで用意します。

教会祭 6月3日(日) 10時ミサ～16:00

10時ミサで共に主聖堂の記念日をお祝いし、献堂記念教会祭に参加しましょう。

催し物

福音の喜びをわかちあう集い ザビエル聖堂

カトリック信徒になって得られた喜びや恵みの体験。

話してみませんか。聞いてみませんか。

聞くだけでもいいんです。少しづつ分かち合って。

ザビエル聖堂を、神様がそんな場にします。

Music & Dance ヨセフホール 12:00～16:00

インターナショナルな歌や踊りで献堂をお祝いします。

バザー・フードコート 回廊、テレジアホール他

教会活動グループ、国際グループ有志による出展です。

こどもひろば 岐部ホールピロティ

スタンプラリー、綿あめ、スーパーボールすくい、プラ板、的あてなど教会学校の企画です。

パパママごほんよんで!! 図書室 11:30～12:15

子ども図書グループによる読み聞かせの会です。

おとなの方もどうぞ。

ミニ手話教室 203B ザーカイ(手話サークル)

「おはよう」「こんにちは」から始まる簡単な手話をご一緒に。

教会案内ツアー

教会内をぐるっと一周ご案内します。

詳細はポスター、チラシ、教会ホームページをご覧ください。

聖体礼拝

毎週木曜日 18:45～19:45 ザビエル聖堂

(祝日、8月は休み)

宣教は祈りを基にして初めて実を結びます。聖イグナチオ教会の今年度の柱、「ミッション2030—福音を伝える」の原動力となれるよう、毎週木曜日の夕ミサ後に「聖体礼拝」を行うことになりました。

聖体礼拝は、ご聖体のうちに現存されるイエス・キリストを見つめ、その死と復活に示された無限の愛を礼拝する祈りです。

主イエス・キリストは、ミサとその延長である聖体礼拝を通して、人類の救いのために今も働いておられます。わたしたちも主のこのみわざに与らせていただき、現代の苦しむ世界のために、聖なる一時間をお捧げ致しましょう。

主任司祭英隆一朗神父とシスター杉原法子(援助マリア会)が皆さまとともに祈ります。多数のご参加をお待ちしています。

東京教区主催「入門講座担当者養成講座」への当教会からの派遣者募集のお知らせ

【募集形式】当教会として、以下の二形式で募集を行います。

- ①自薦：掲題講座への自主的な応募。
- ②推薦：第三者から相応しいと思われる方を推薦いただく。

【当教会の募集スケジュール】

- ・当教会への申し込み期間：6月1日～6月30日
- ・派遣者の決定：7月中旬
- ・東京教区への申し込み：7月下旬(申込期限：7月31日)

【当教会への申し込み手続き】

- ・募集要項資料：教会事務室にてお受取り下さい。
- ・申し込み手続き：申し込みには主任司祭の推薦状が必要となります。上記募集要項に添付されている「推薦状」にご本人、若しくは推薦される方のお名前を記載の上、6月30日までに教会事務室にご提出下さい。(自薦、他薦ともに同様の手続きです)
- ・なお、その際ご自身のメールアドレス、電話番号もご記載下さい。
- ・選考は7月中旬に行います。(状況によっては全員が派遣されない場合があります。)

主任司祭 英 隆一朗

初聖体おめでとう



御聖体をいただくためにいっぱい勉強しました

4月8日(日)10時ミサで63名の子どもたちが初めて御聖体をいただきました。子どもたちが神様によって元気に成長できるようお祈りしましょう。

歓迎会・銀祝お祝い会



中学生会、高校生会のメンバーによる歌のあと乾杯!

4月29日(日)、李相源神父様、イングリッシュセンターのシスター方の歓迎会と英隆一朗神父様の叙階25周年のお祝い会に多くの人が集まり、楽しい時間を過ごしました。

ミッション2030

第2回福音ワークショップ

日時:7月1日(日) 13:00 ~ 15:00

場所:ヨセフホール

テーマ:福音を生きる

コメンテーター:英 隆一朗神父

詳しくはポスター、チラシでご確認ください。

幼児洗礼式

7歳未満のお子様を対象とした幼児洗礼式を行います。事前の準備会があります。詳細は教会事務室にお聞きください。

8月19日(日)10時ミサにて

10月14日(日)10時ミサにて

財務報告

- ・「四旬節愛の献金」939,085円はカリタス・ジャパンを通して日本・海外の多くの人々のいのちを守るために使われます。
- ・3月30日(聖金曜日)の聖地のための献金548,333円は、ローマ教皇庁に送られ、聖地の巡礼所や聖堂の維持管理、福祉施設や教育施設の運営などに使われます。

2018年 江戸殉教者巡礼 7月1日(日)

12時40分までに岐部ホールピロティに集合、13時出発(雨天決行)。

コースは札の辻、高輪教会、小伝馬町牢屋敷跡、17時30分浅草教会にてミサの予定。同行司祭は平林冬樹神父様です。

スムーズな移動のためにスイカ・パスモをご持参ください。

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel

7:00/12:00/18:00 (Japanese)

(土曜日18:00は主日ミサ)

【日曜日 Sunday】主聖堂 Main Chapel

7:00/8:30/10:00/18:00 (Japanese)

12:00 (English) / 13:30 (Español)

【月の第1日曜日 1st Sunday】

Main Chapel 15:00 (Việt Nam)

Our Lady's Chapel 12:30 (Português) 16:00 (Polski)

Xavier Chapel 16:00 (Indonesian)

【月の第3日曜日 3rd Sunday】

Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

主任司祭:英 隆一朗

助任司祭:李 相源

田丸 篤

協力司祭:ヘネロン・フローレス

ハビエル・ガラルダ

平林 冬樹

ブラザー:吉羽 弘明

シスター:イベッテ・サンチェス
(セントロ・ロヨラ)

ローズ・レミジオ

(ジョン・デ・ブリッド イングリッシュセンター)

カトリック麴町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102-0083 千代田区麴町6-5-1

TEL 03-3263-4584 FAX 03-3263-4585

ホームページアドレス: <http://www.ignatius.gr.jp>